

令和4年度県政モニターアンケート

## ヤングケアラーに関するアンケート調査

子育て支援局子ども福祉課

## 1. 調査の趣旨

ヤングケアラーに関して、県民の皆様がどのような意識を持っているのかを調査し、今後の施策の推進に役立てる。

## 2. 調査対象

令和4年度県政モニター 436人

## 3. 調査時期

令和4年8月下旬～9月上旬

## 4. 調査方法

郵送・インターネット

## 5. 回答者数

324人（回答率 74.3%）

内訳は次表のとおり。

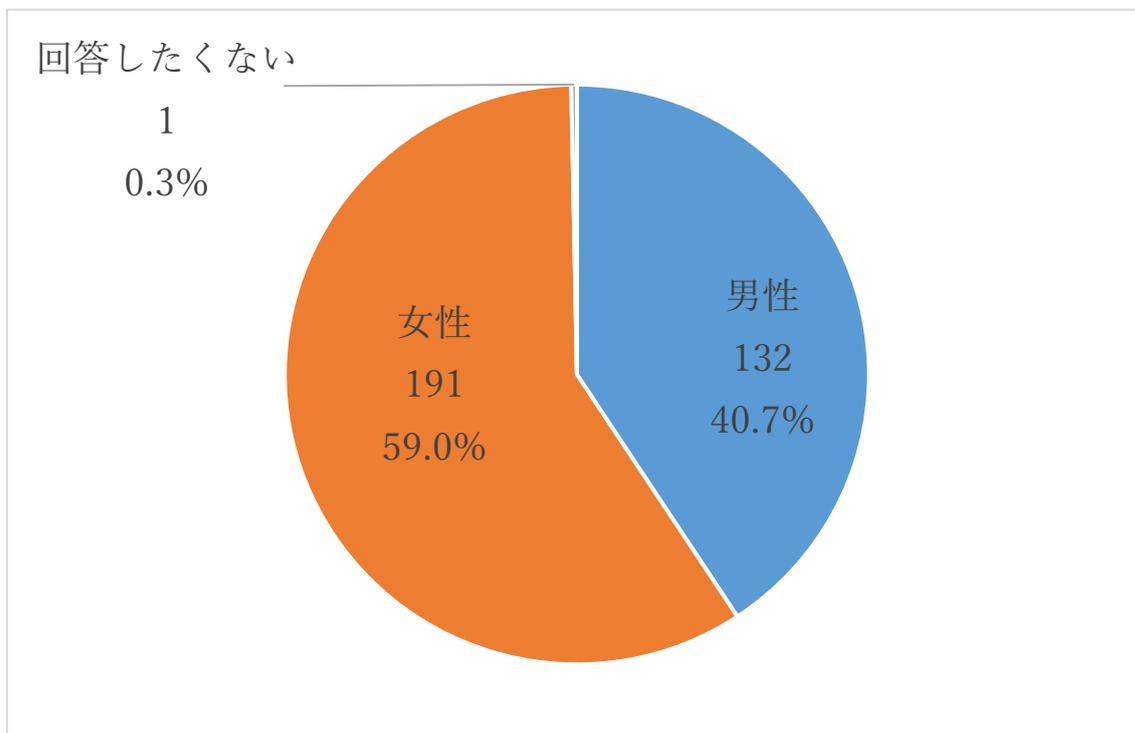
（単位：人）

区分	計		地域別				
	人数	構成比	中北地域	峡東地域	峡南地域	富士・東部地域	
総数	324	100%	175	51	17	81	
性別	男性	132	40.7%	64	25	7	36
	女性	191	59.0%	111	25	10	45
	回答したくない	1	0.3%	0	1	0	0
年代別	20歳未満	6	1.9%	5	0	0	1
	20歳代	40	12.3%	20	8	2	10
	30歳代	44	13.6%	24	5	3	12
	40歳代	50	15.4%	23	8	2	17
	50歳代	55	17.0%	31	6	2	16
	60歳代	68	21.0%	36	13	7	12
	70歳以上	60	18.5%	36	11	1	12
	無回答	1	0.3%	0	0	0	1

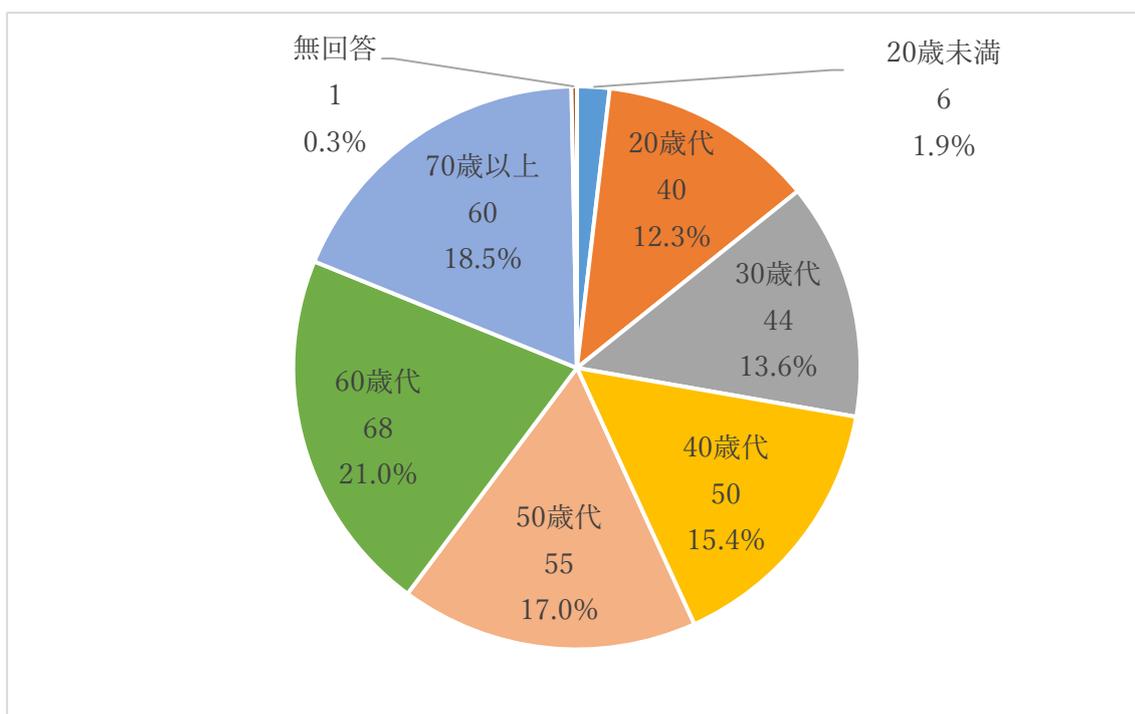
## 6. 調査結果

問1 最初に、あなた自身のことについて伺います。あなたの性別を教えてください。

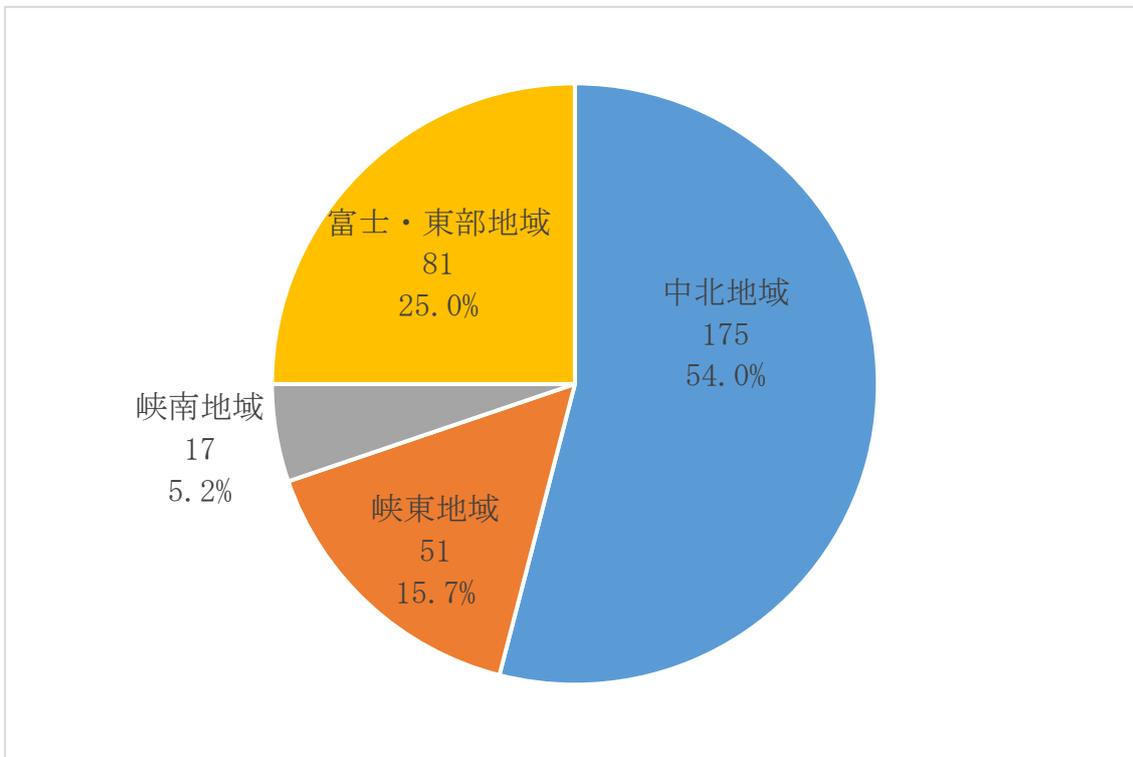
(n=324)



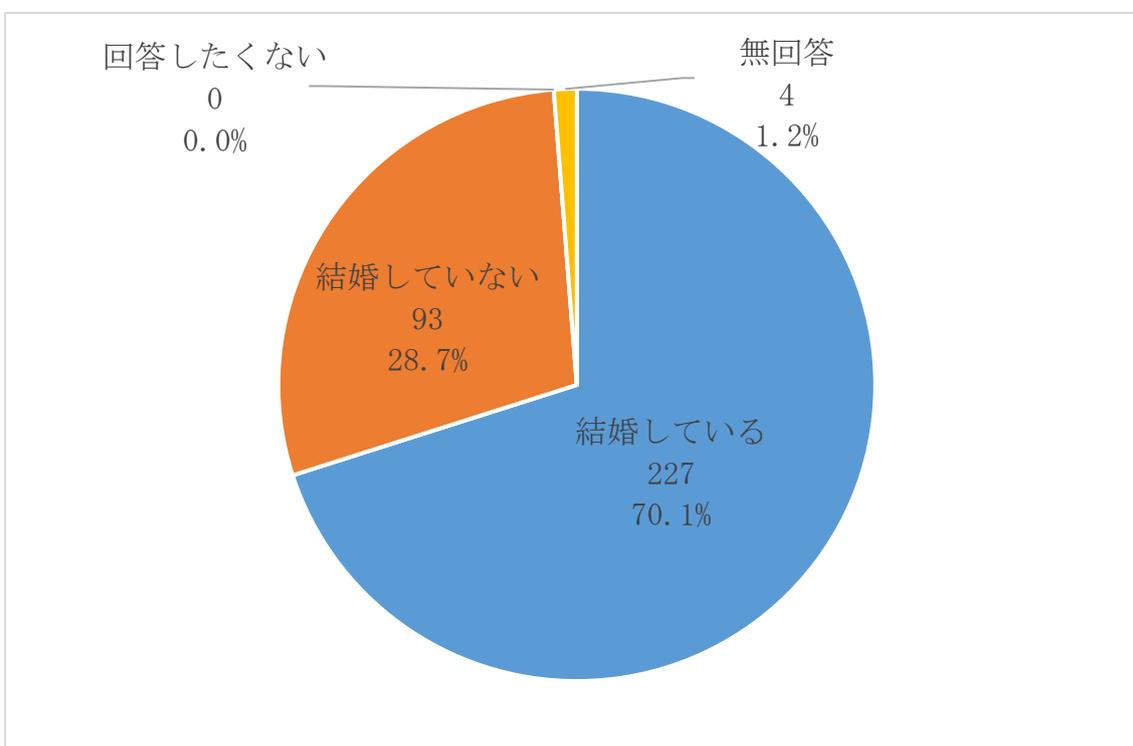
問2 あなたの年代を教えてください。(n=324)



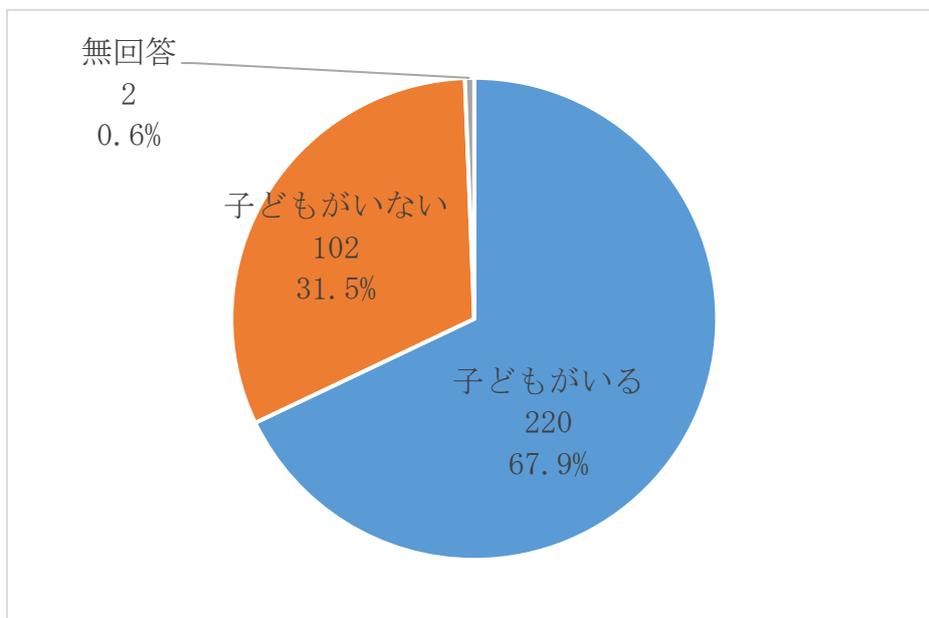
問3 あなたが住んでいる地域を教えてください。(n=324)



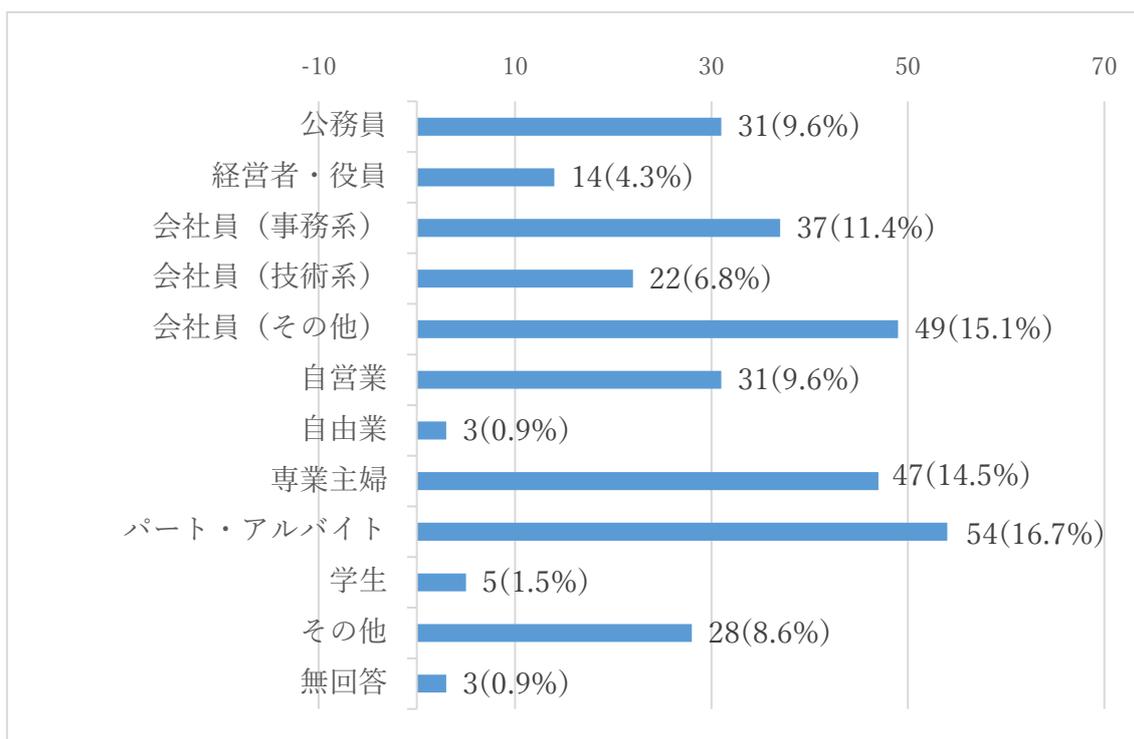
問4 あなたの婚姻状況を教えてください。(n=324)



問5 あなたの子どもの有無を教えてください。(n=324)

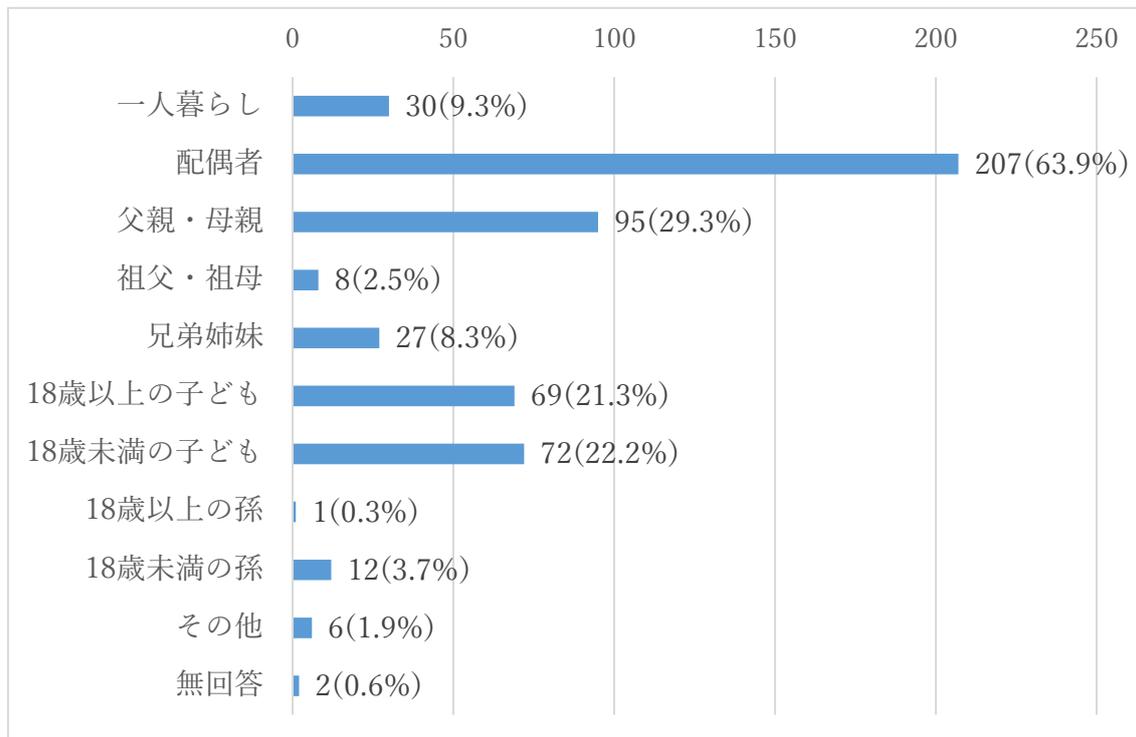


問6 あなたの職業を教えてください。(n=324)

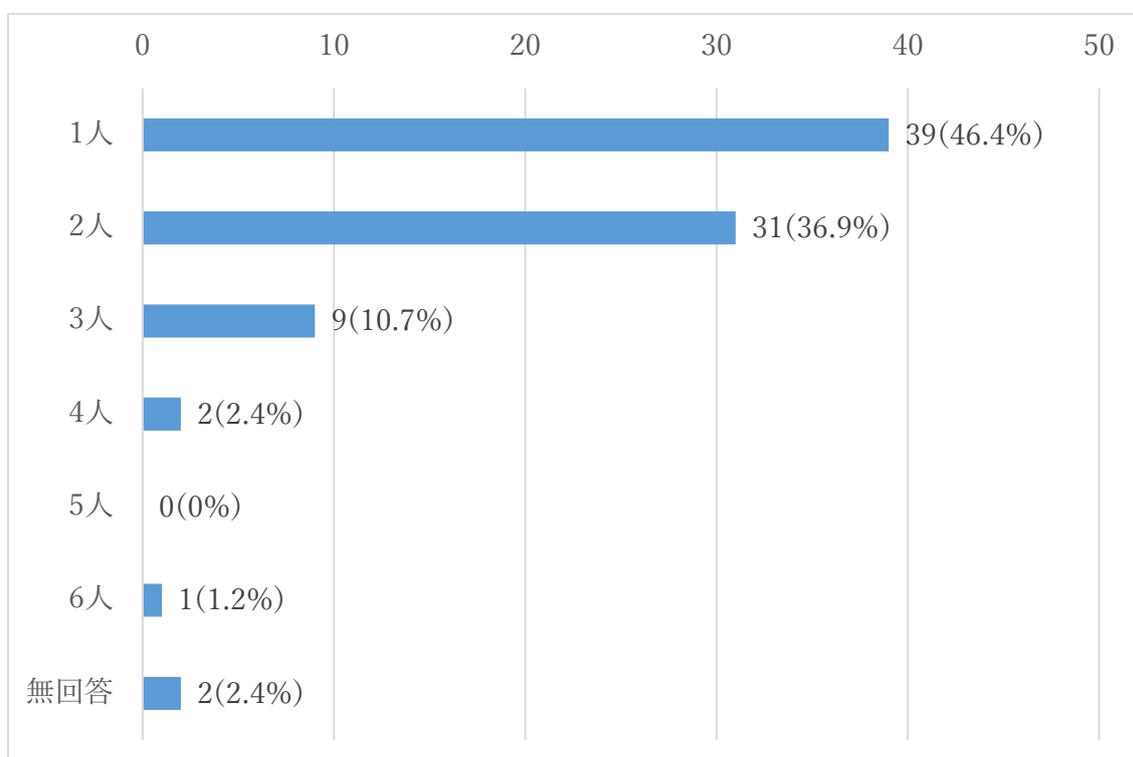


その他（内訳）：無職、年金生活者、定年退職者、歯科衛生士、私立大学教員、  
ソーシャルワーカー

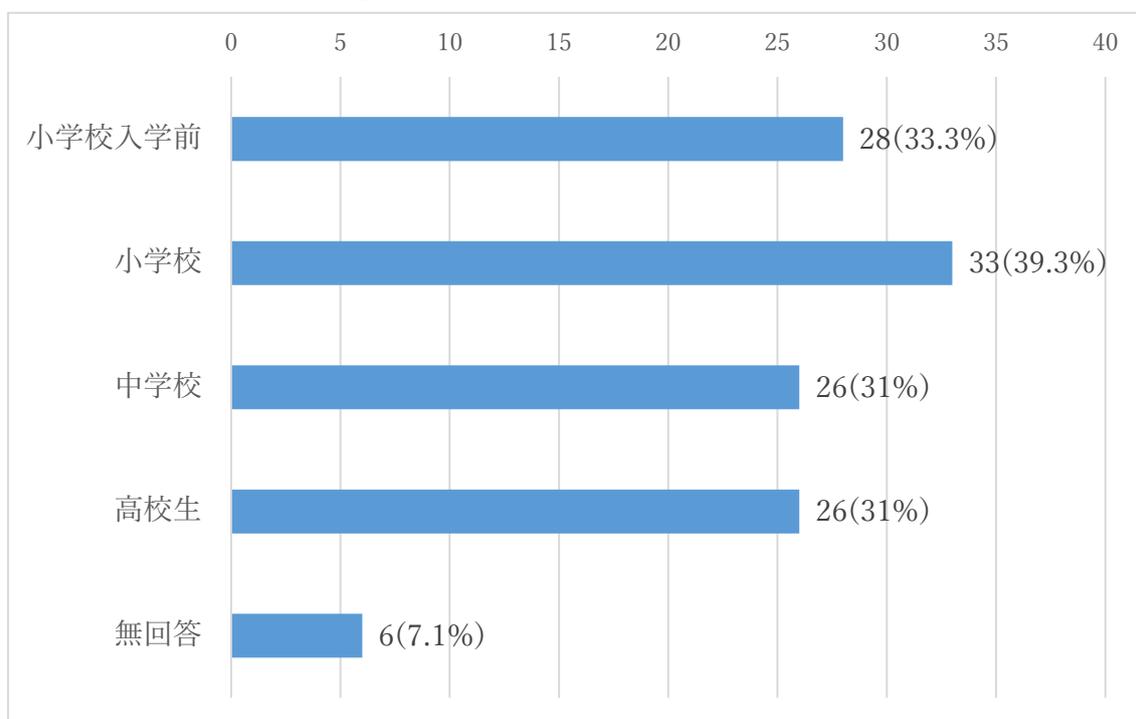
問7 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(複数回答可) (n=324)



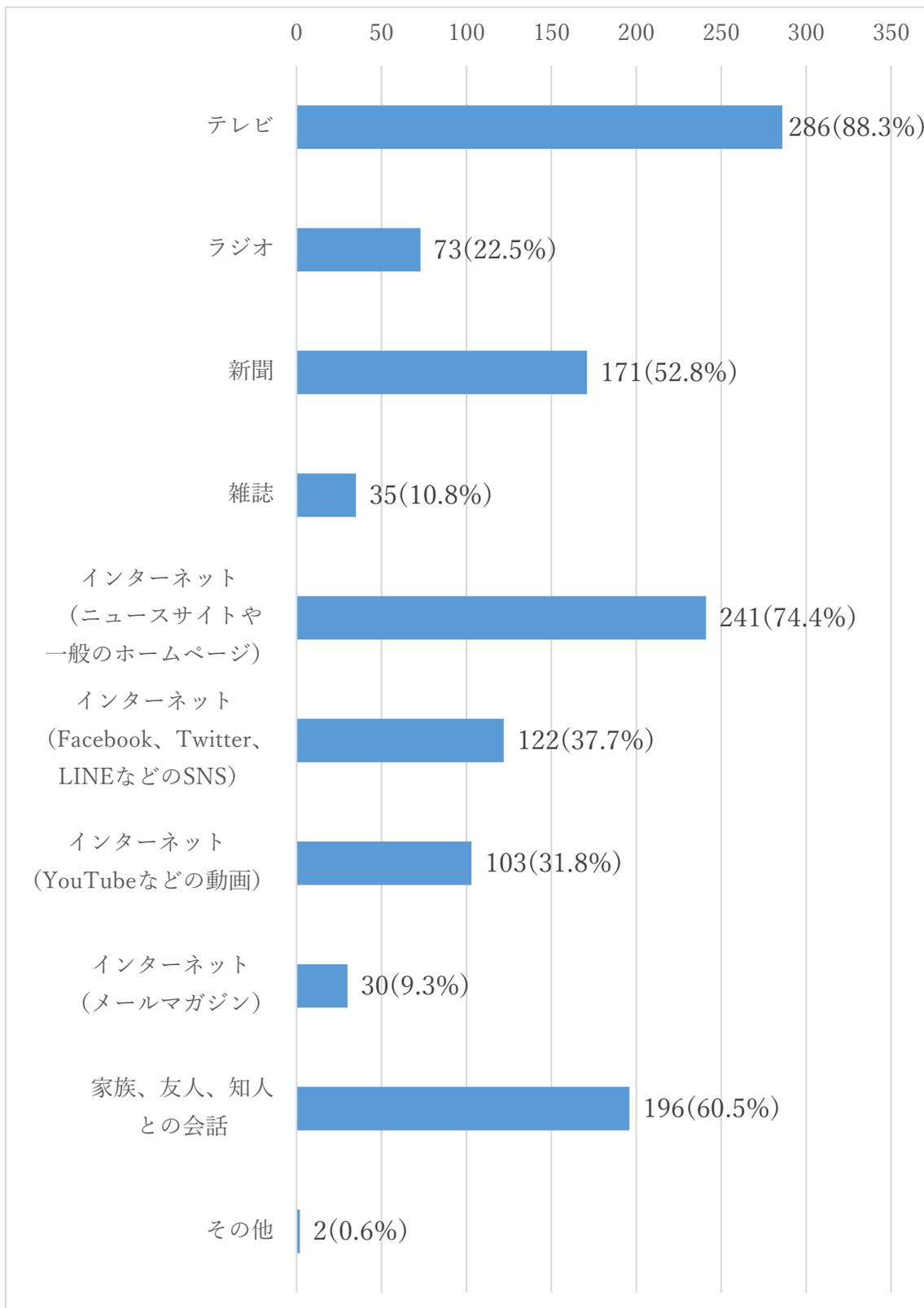
問7-1 問7で「18歳未満の子ども」「18歳未満の孫」を選択した方は人数を記入してください。(n=84)



問8 問7で「18歳未満の子ども」「18歳未満の孫」がいると回答した方におたずねします。子ども・孫の年代を教えてください。(複数回答可) (n=84)

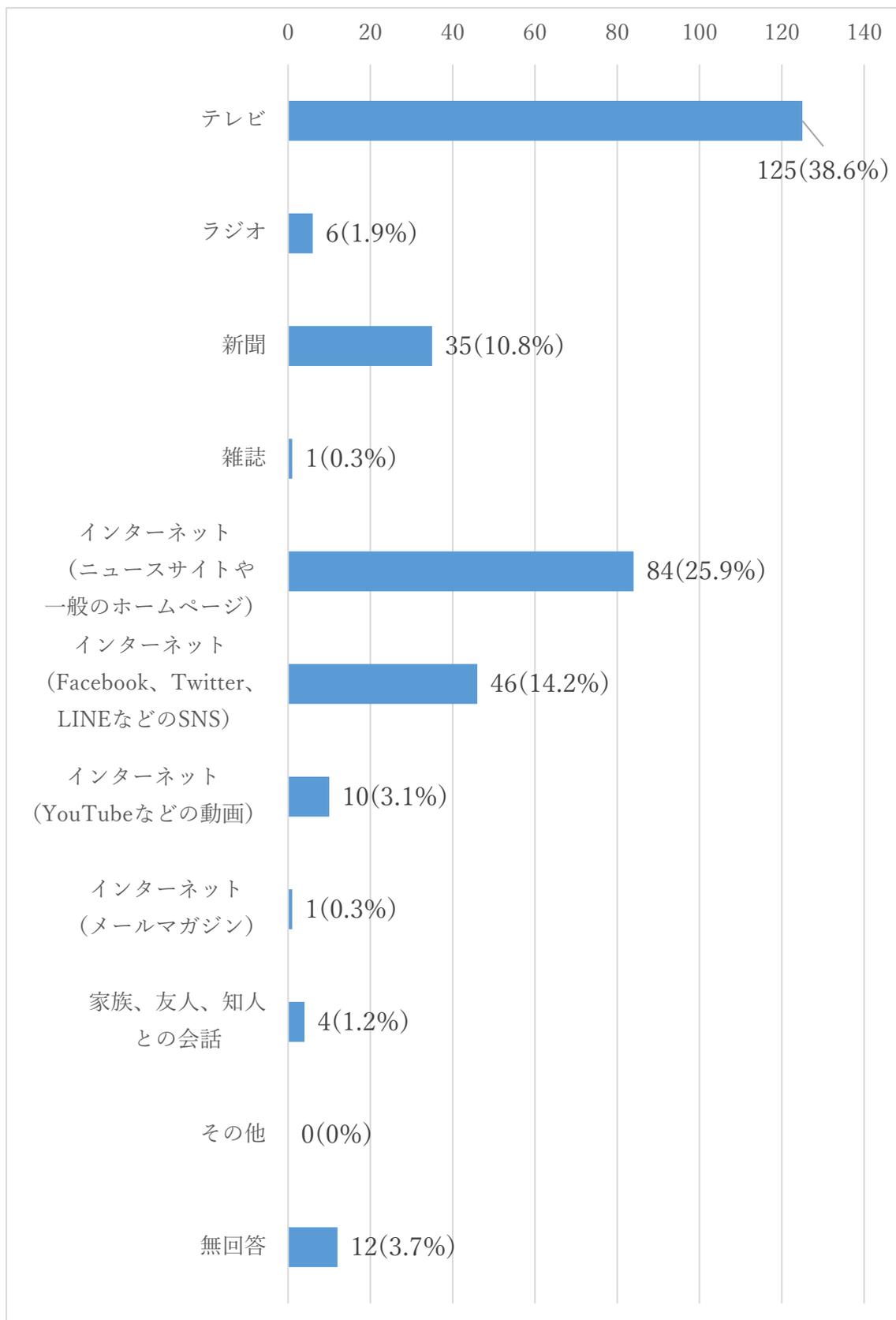


問9(1) あなたは、普段どのような方法で情報を入手していますか。(複数回答可) (n=324)

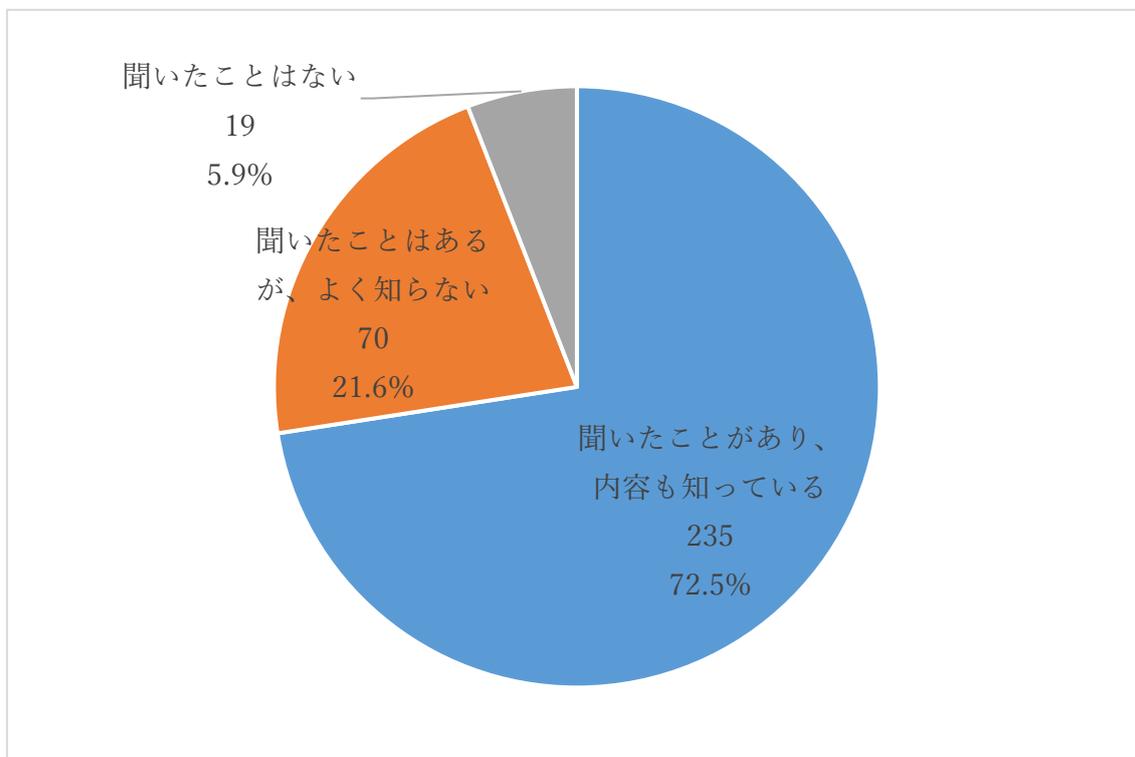


その他 (内訳) : 広報・情報誌 (タウン誌など)

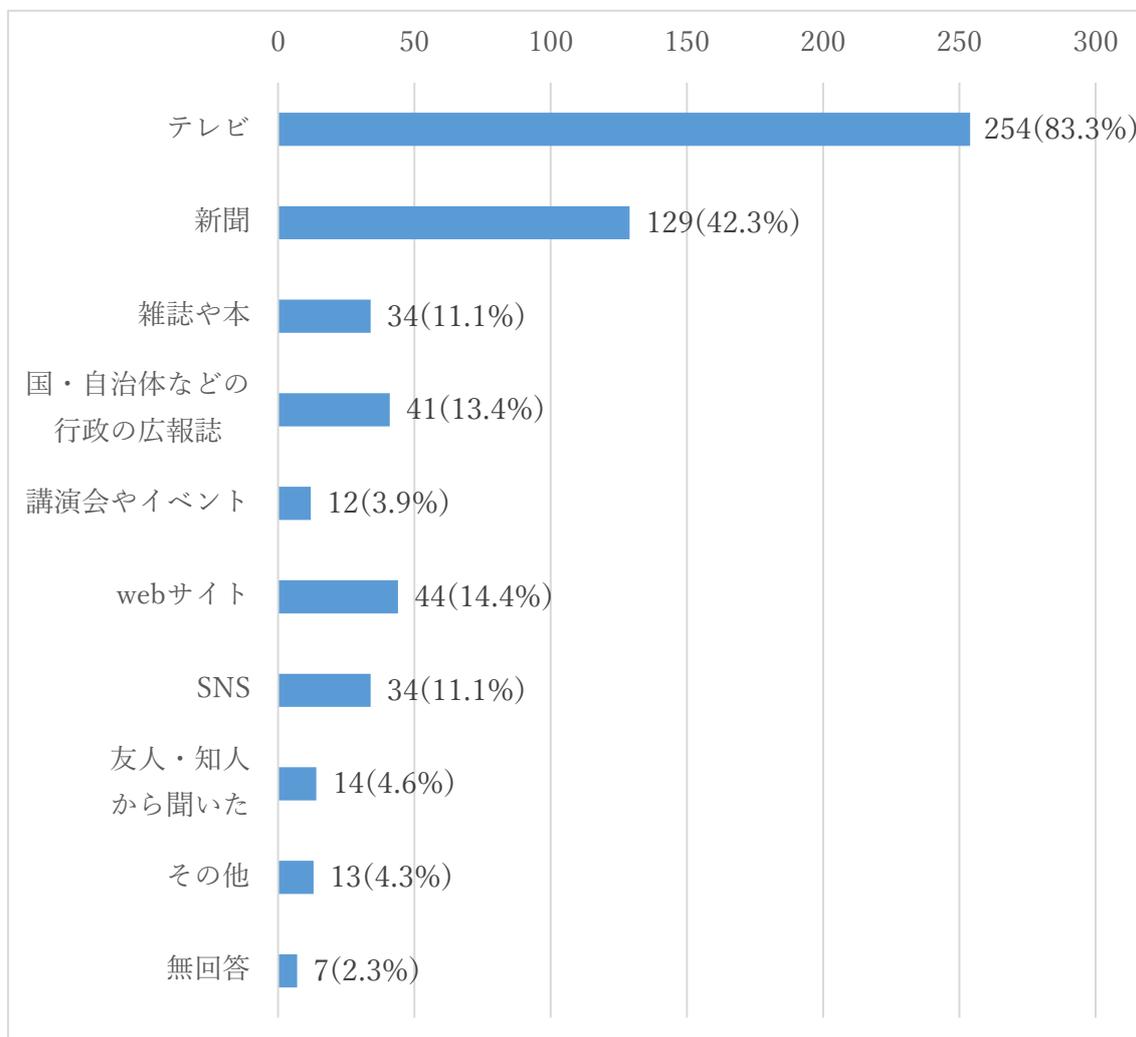
問9(2) 問9(1)で選択した方法の中で、最も利用する方法を教えてください。(n=324)



問10 「ヤングケアラー」についてお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありましたか。(n=324)



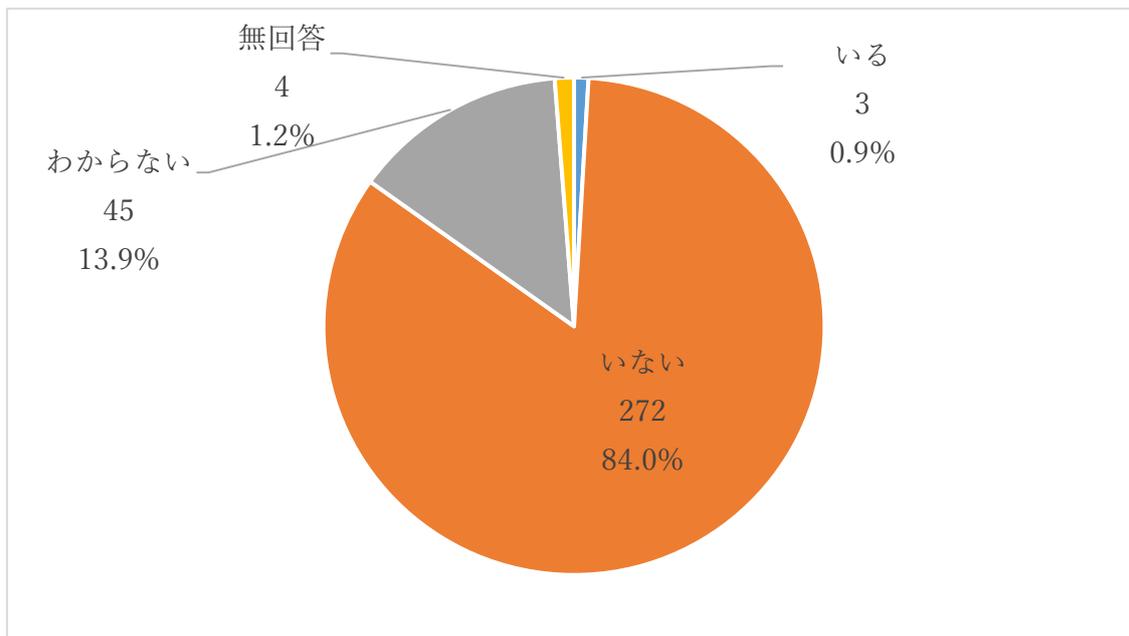
問11 問10で「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(複数回答可) (n=305)



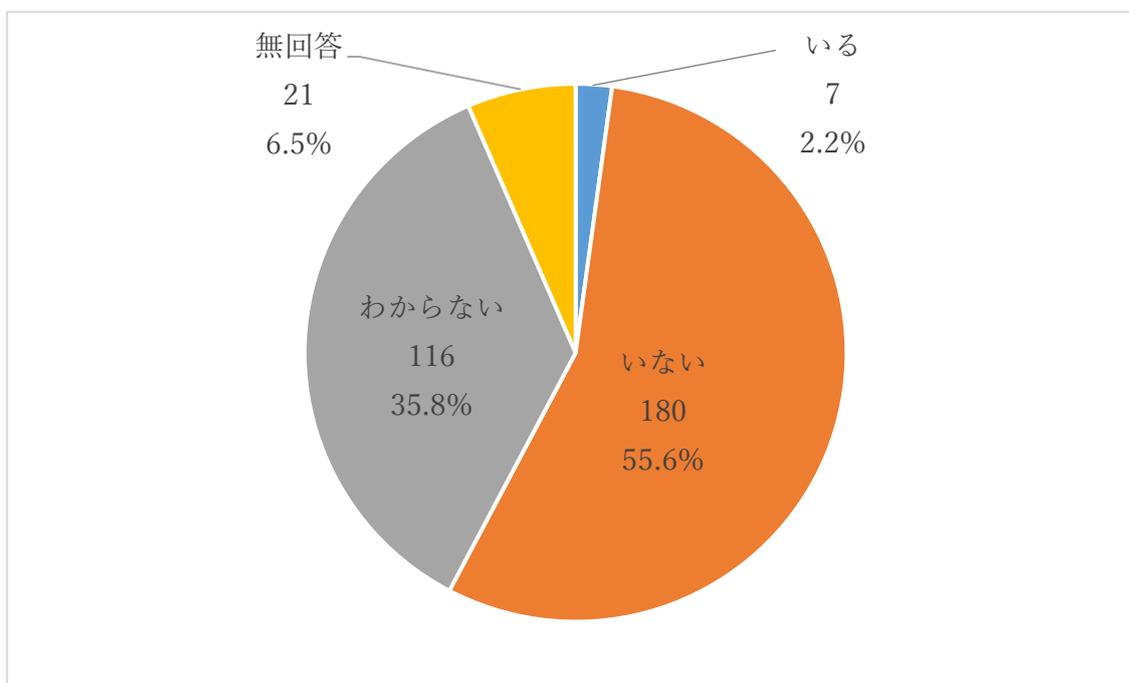
その他（内訳）：職場、ラジオ、学校の授業、YouTube 広告、仕事、  
全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会)、子どもの学校からの配布物

問12 家族・親族や、友人・知人やその子ども、子どものクラスメイト、近所の子どもに「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。

問12(a) 家族・親族 (n=324)



問12(b) 友人・知人や、その子ども、子どものクラスメイト、近所の子ども (n=324)



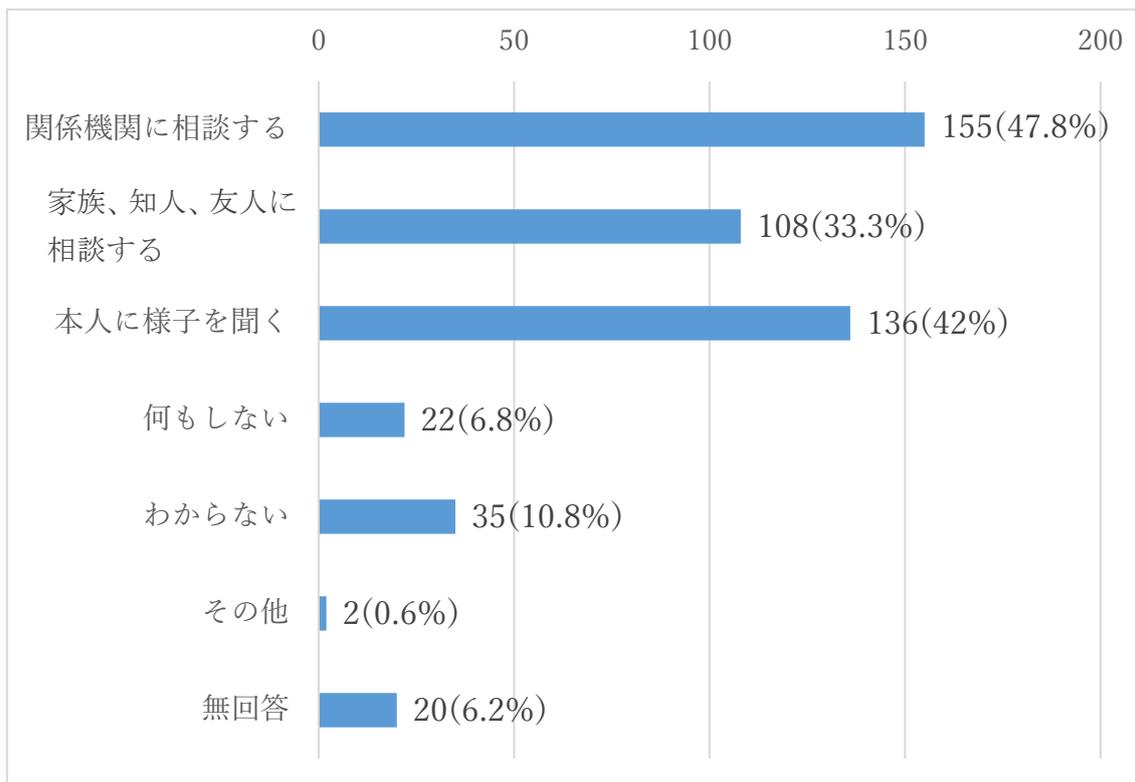
問13 問12(a)で「ヤングケアラー」と思われる子どもが「1 いる」と回答した方にお聞きします。なぜその子どもが「ヤングケアラー」だと思いましたか。(複数回答可)  
(n=3)

なぜその子どもが「ヤングケアラー」だと思ったか。(家族・親族)	
家事をしているのをよく見かける(してもらっている)	1
スーパー等で買い物をしているのをよく見かける(してもらっている)	1
きょうだいの世話や送迎をしているのをよく見かける(してもらっている)	1
家族の介助をしているのをよく見かける(してもらっている)	1
家族の外出の付き添いをしているのをよく見かける(してもらっている)	0
家族の通院の付き添いをしているのをよく見かける(してもらっている)	1
役所・役場に行っているのをよく見かける(行ってもらっている)	0
家族の通訳(日本語や手話など)をしているのをよく見かける(してもらっている)	0
その他	0
無回答	1

問13-2 問12(b)で「ヤングケアラー」と思われる子どもが「1 いる」と回答した方にお聞きします。なぜその子どもが「ヤングケアラー」だと思いましたか。(複数回答可)  
(n=7)

なぜその子どもが「ヤングケアラー」だと思ったか。 (友人・知人や、その子ども、子どものクラスメイト、近所の子ども)	
家事をしているのをよく見かける(してもらっている)	1
スーパー等で買い物をしているのをよく見かける(してもらっている)	1
きょうだいの世話や送迎をしているのをよく見かける(してもらっている)	6
家族の介助をしているのをよく見かける(してもらっている)	0
家族の外出の付き添いをしているのをよく見かける(してもらっている)	1
家族の通院の付き添いをしているのをよく見かける(してもらっている)	2
役所・役場に行っているのをよく見かける(行ってもらっている)	0
家族の通訳(日本語や手話など)をしているのをよく見かける(してもらっている)	1
その他	0
無回答	0

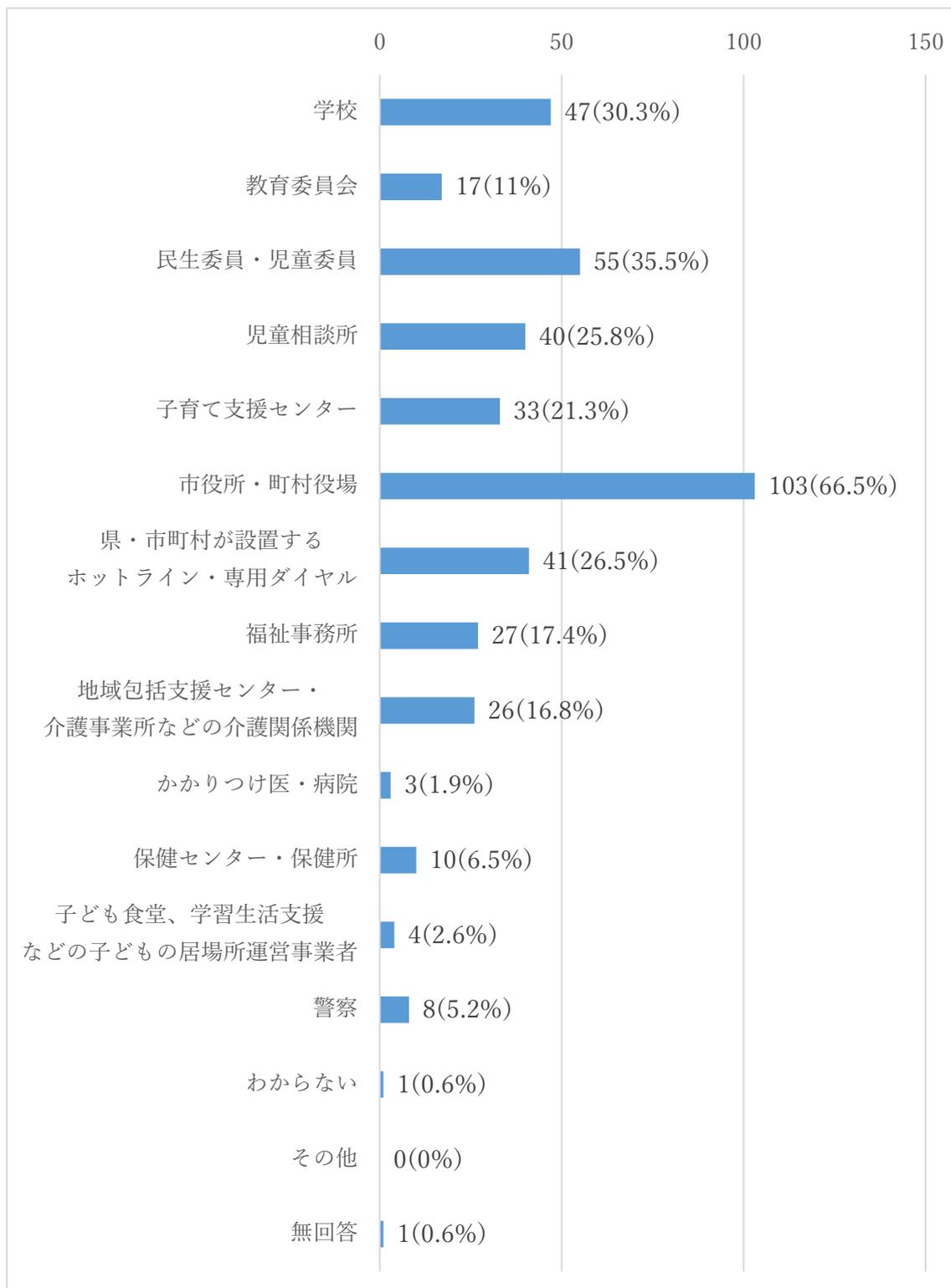
問14 身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような対応をしますか（身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいない・いるかわからない場合はいたと仮定してお答えください）。（複数回答可）（n=324）



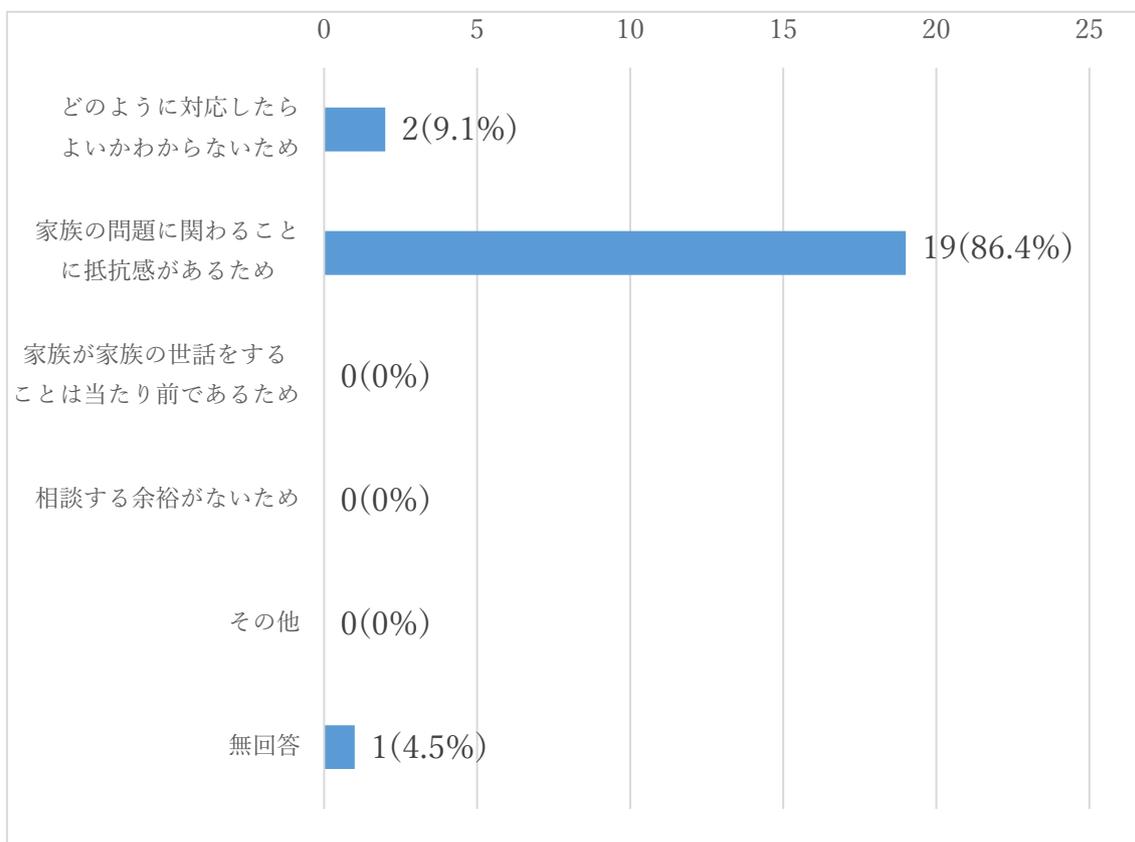
#### その他（内訳）

- ・何かできる事はないか、その子の気持ちをみながら何かしら援助。
- ・感謝を伝え、できる限り協力する。

問15 問14で「関係機関に相談する」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合（いたと仮定した場合も含む）、どのような機関に相談しようと思いますか。（複数回答可）（n=155）

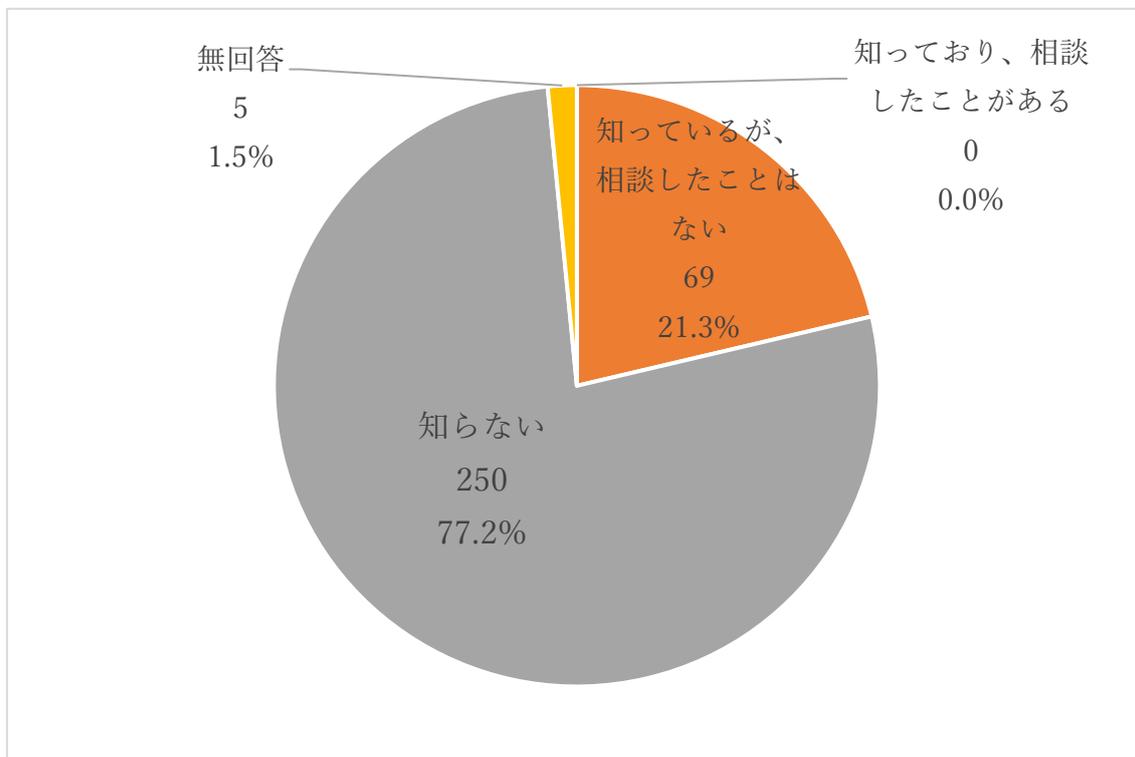


問16 問14で「何もしない」と回答した方にお聞きします。その理由として最もあてはまるものをお答えください。(n=22)

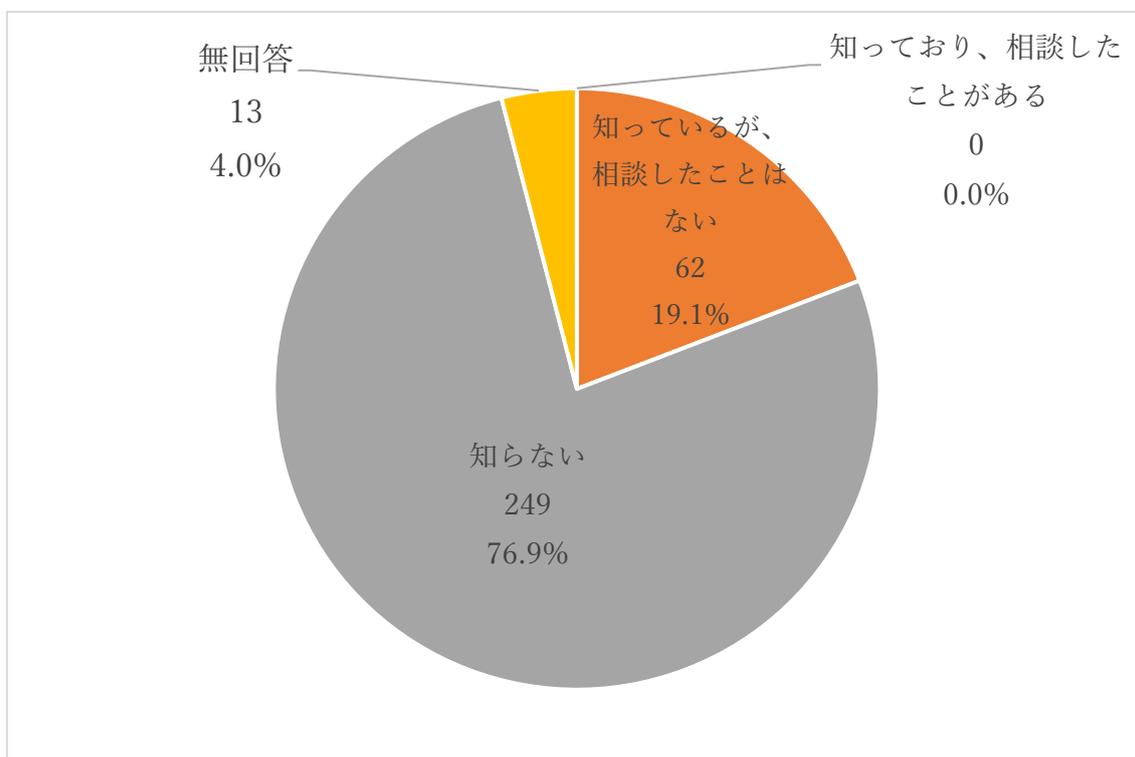


問 17 山梨県の「ヤングケアラー相談窓口」について知っていますか。

問 17(a) 電話相談窓口（0120-189-783、0120-0-78310）（n=324）

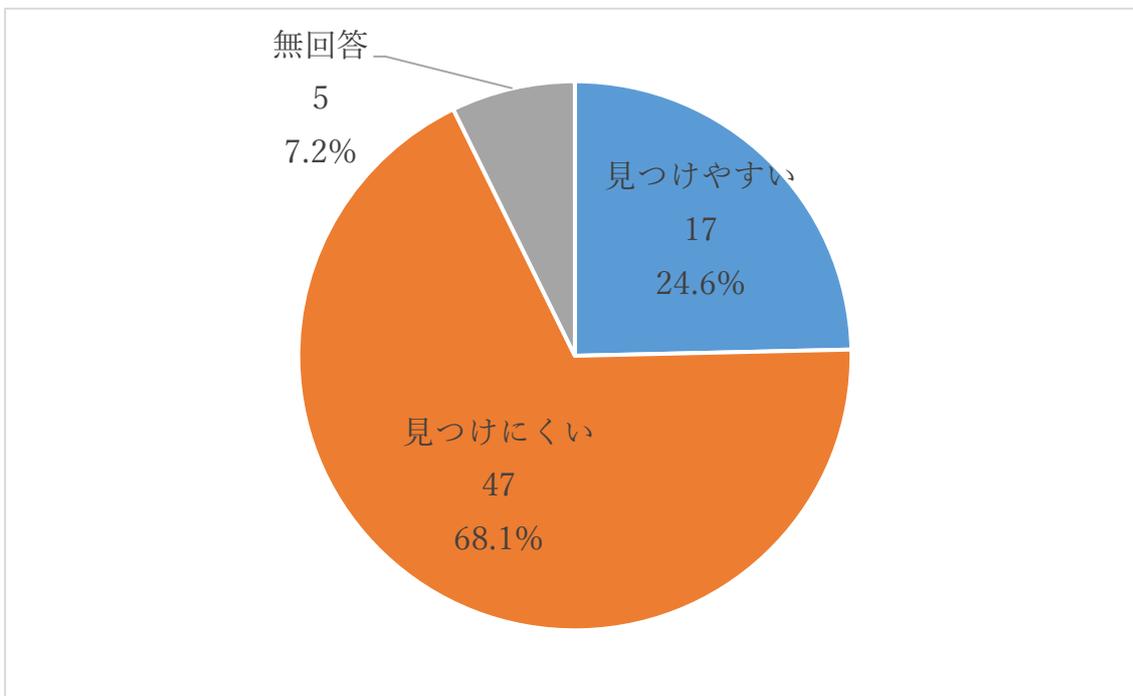


問 17(b) 相談支援センター（山梨県総合教育センター）（n=324）

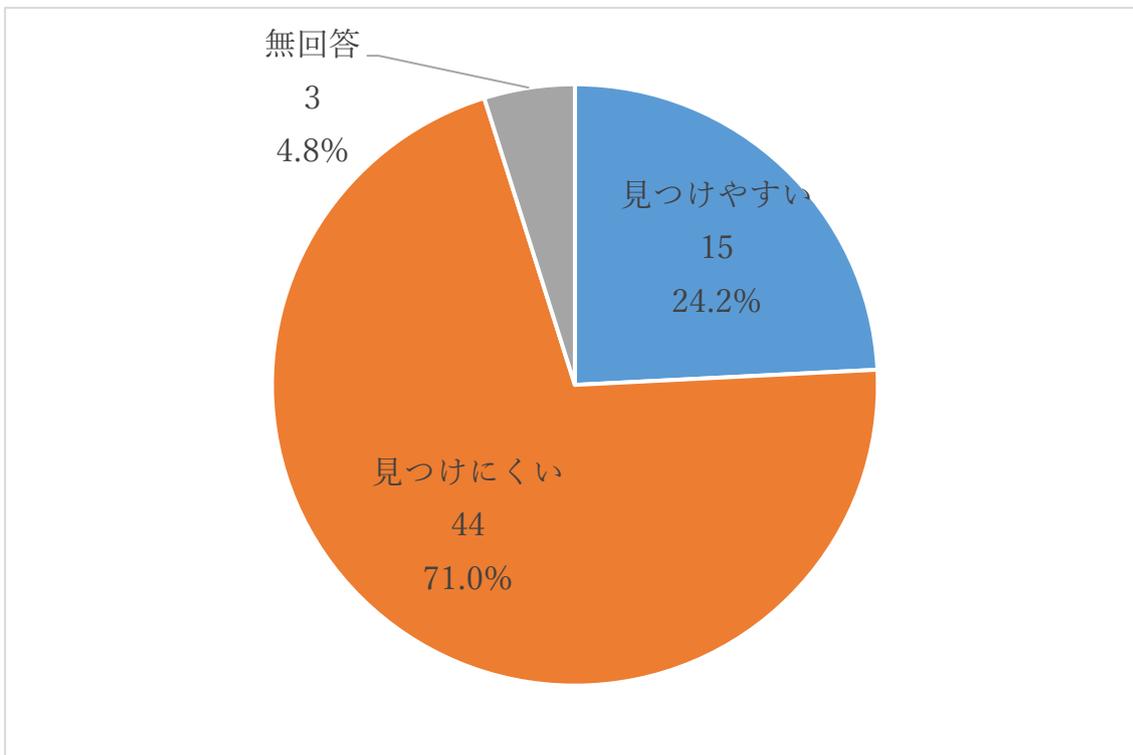


問18 問17で「知っており、相談したことがある」「知っているが、相談したことはない」と回答した方にお聞きします。相談窓口のを見つけやすさはどうですか。

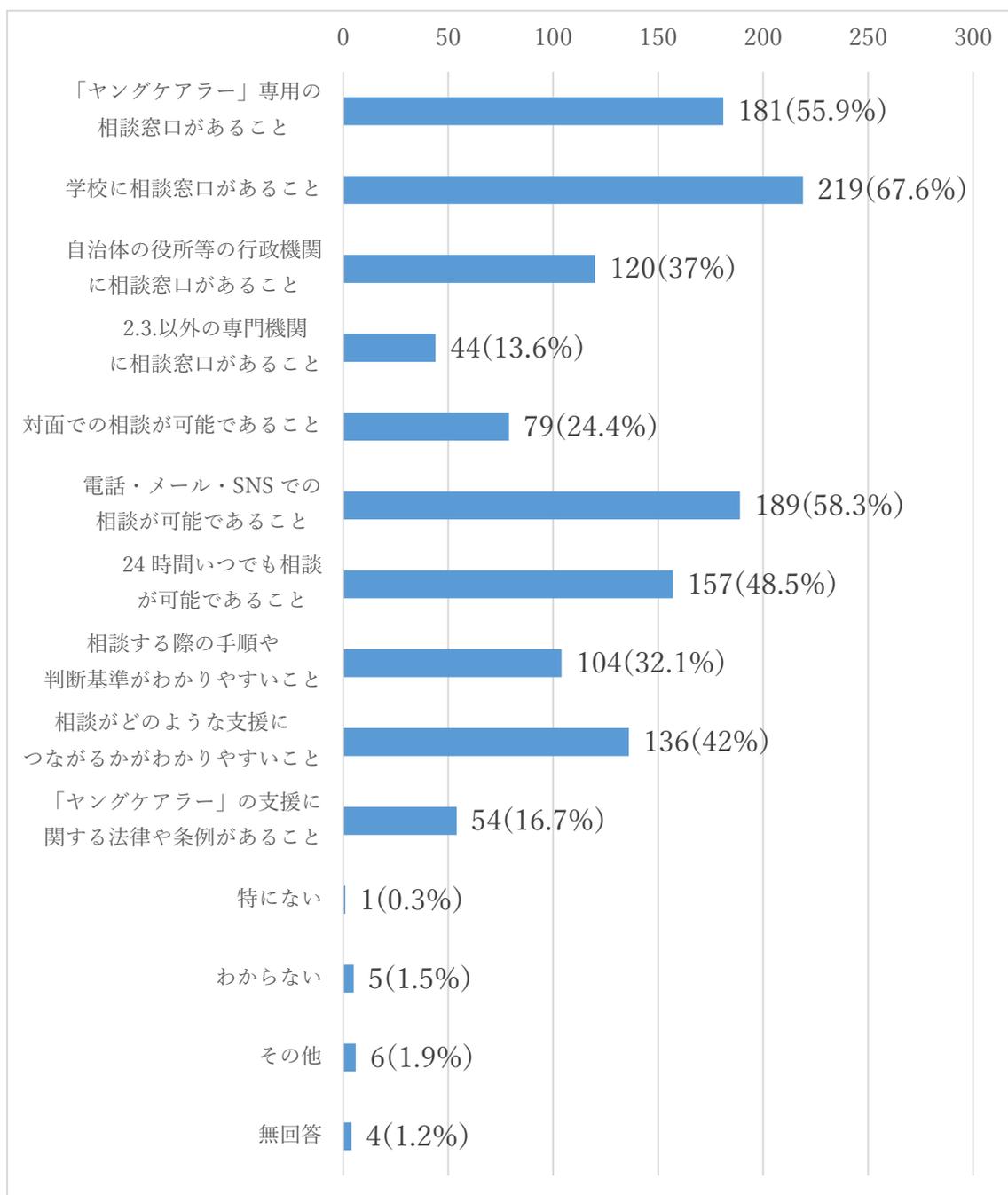
問18(a) 電話相談窓口 (0120-189-783、0120-0-78310) (n=69)



問18(b) 相談支援センター（山梨県総合教育センター）(n=62)



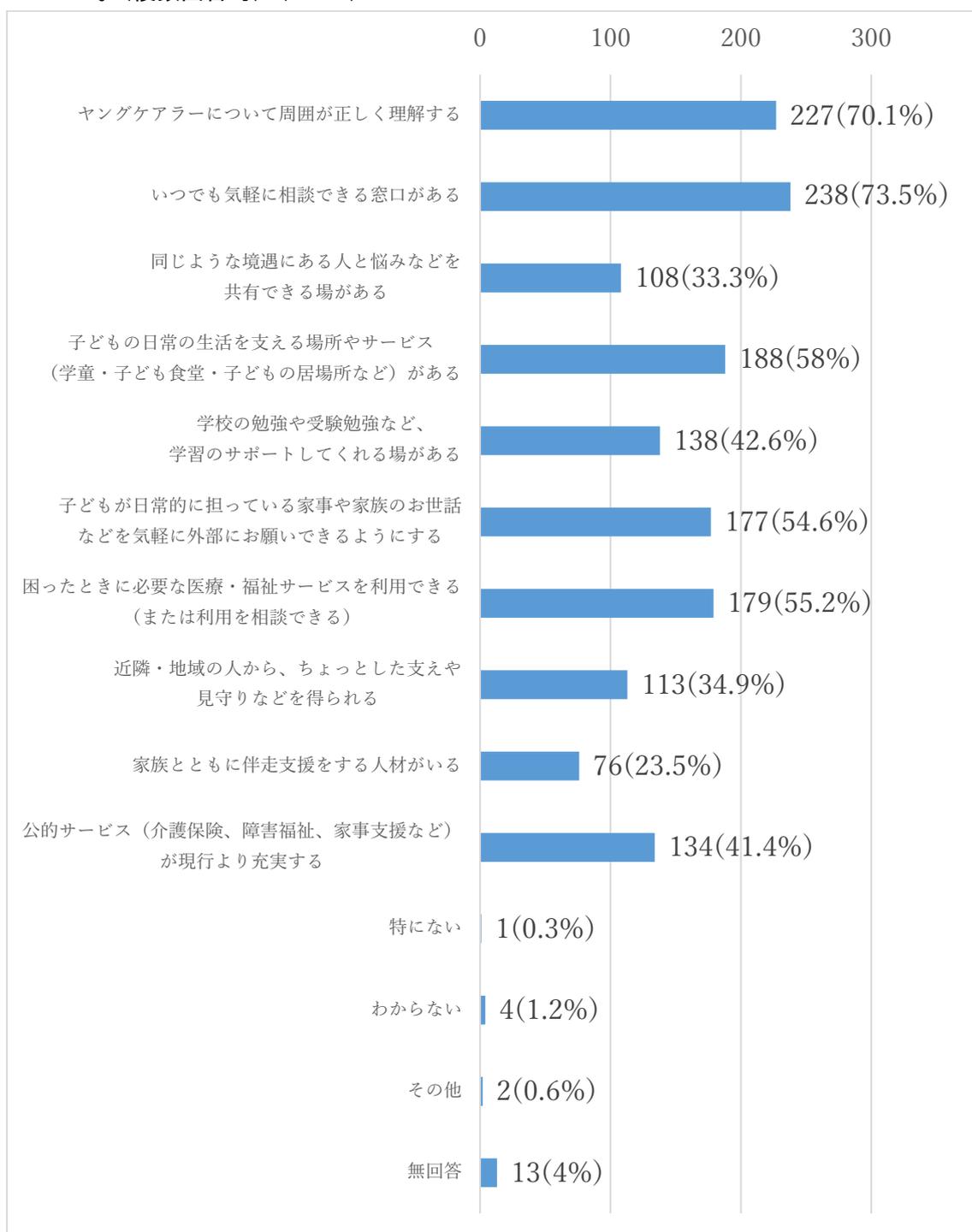
問 19 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、その子どもにとってどのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながると思いますか。あてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可) (n=324)



その他（内訳）：

- ・地域や学校等で気づいて相談につなげられるよう、少しの声かけと、気軽に情報を市町村等につなげて欲しい。
- ・本人がヤングケアラーと自覚できる働きが必要。 など

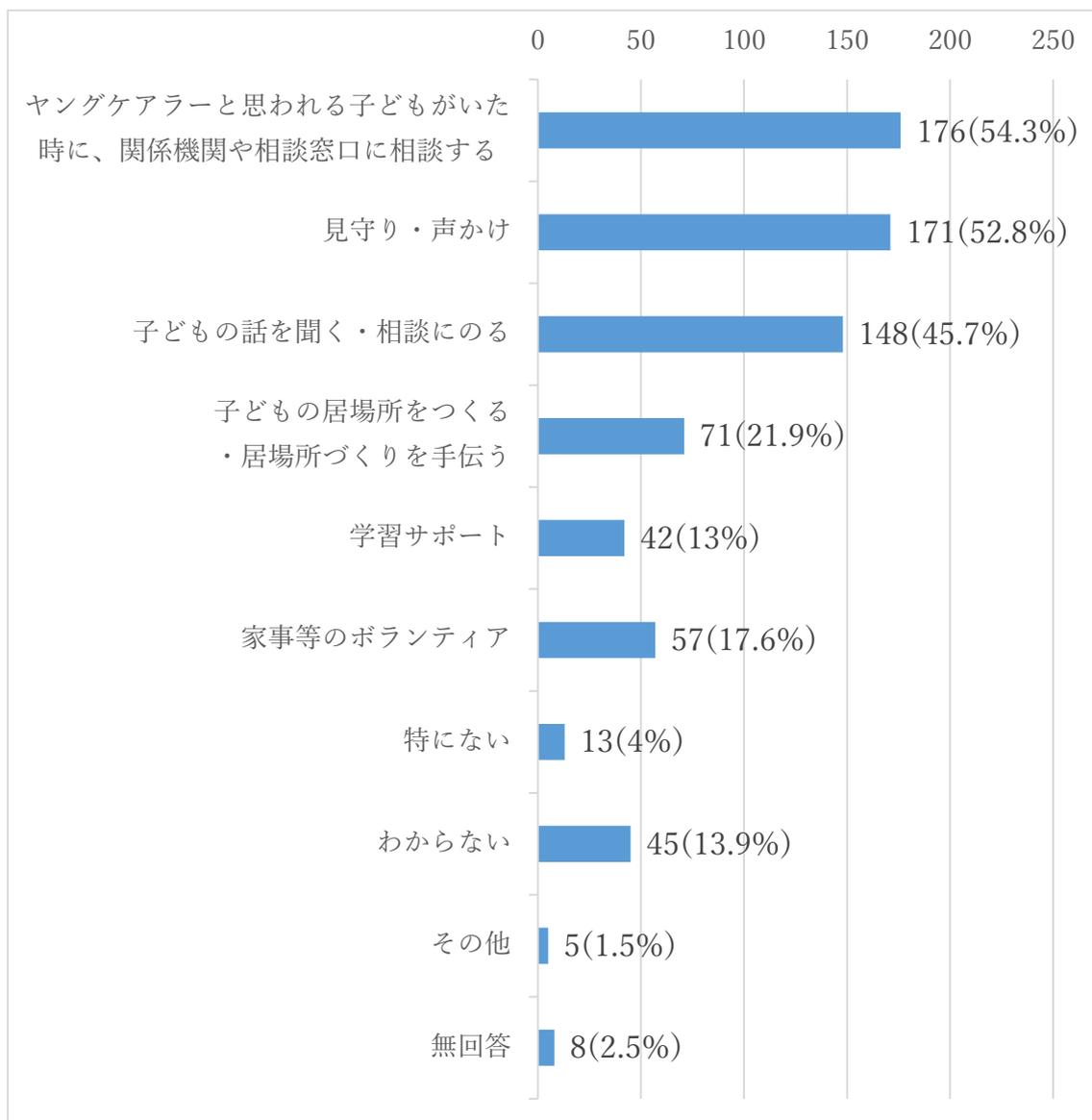
問20 「ヤングケアラー」の子どもに対して必要だと思われる支援について教えてください。(複数回答可) (n=324)



その他(内訳):

- ・子どもの観察ができる第三者の成人というと学校が1番現実的だと思うので、学校と民生委員の連携などが必要。
- ・物理的な支援はもちろんだが、精神面におけるフォローが大切。

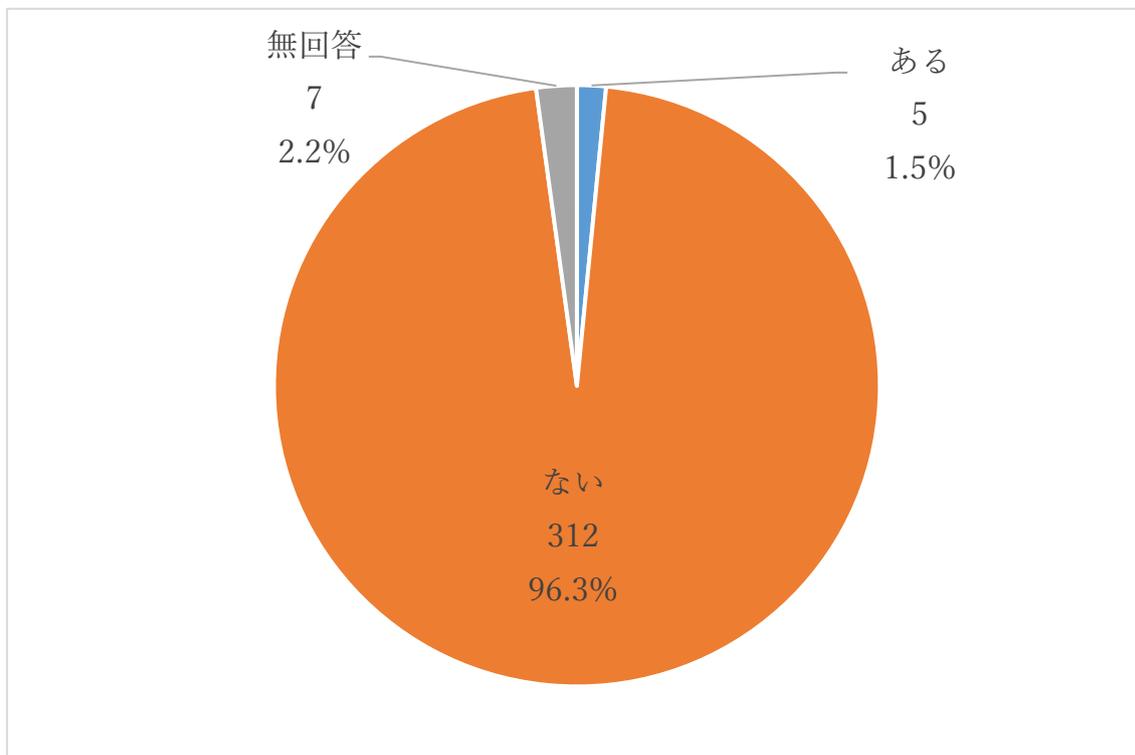
問21 あなたが「ヤングケアラー」支援のためにできることについて教えてください。  
 (複数回答可) (n=324)



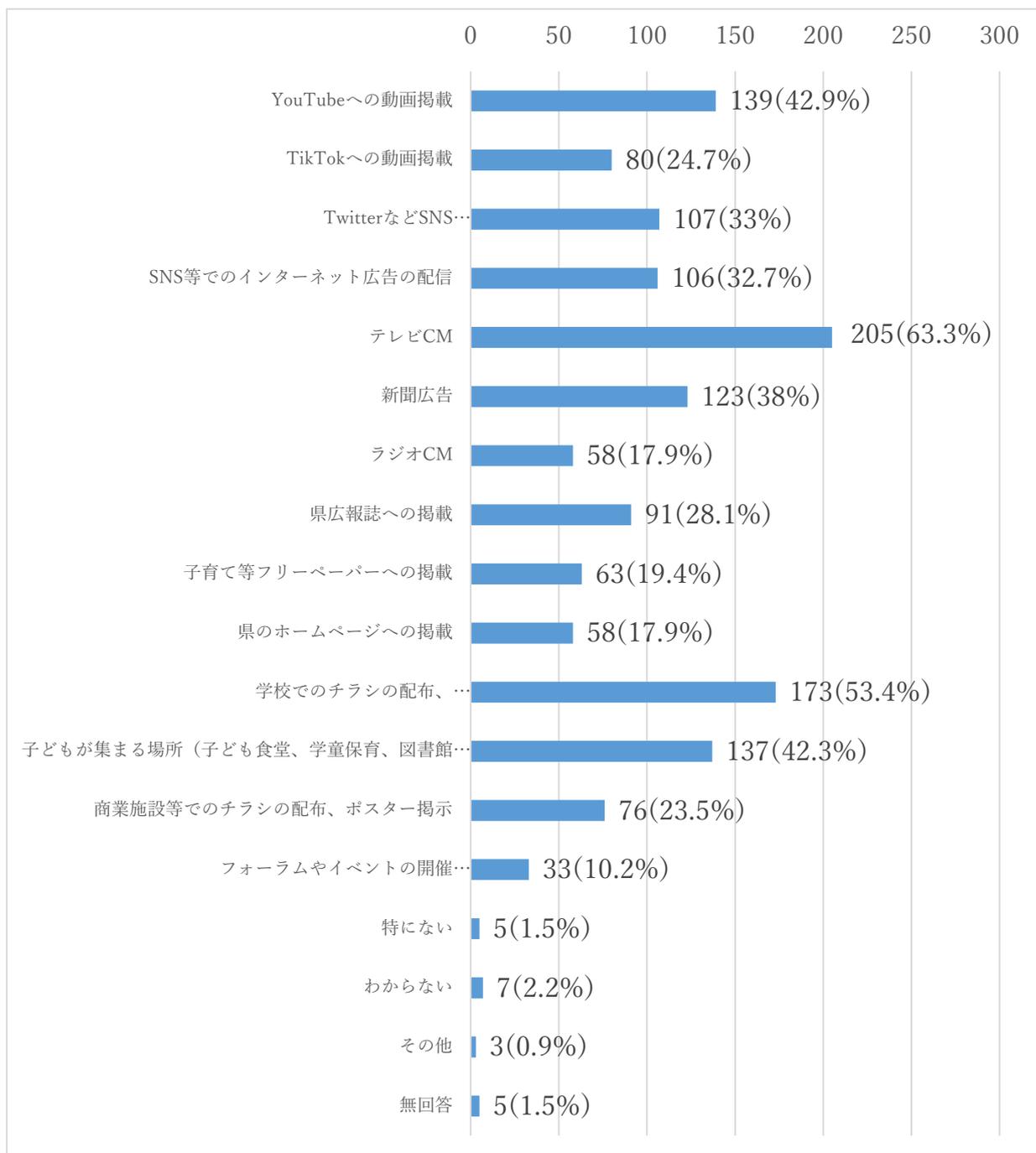
その他 (内訳) :

- ・子どもがヤングケアラーだということを知られたくないはず、そっと支援できる形が望ましいのではないかと。
- ・ボランティアアプリやデジタルを使って解決できること (翻訳など) 等で気軽に助けを求められるとよい。犯罪などの対策は必要だと思う。
- ・まずはヤングケアラーについて興味・関心を持つこと。
- ・中途半端に関わるなら最初から関わらない方がよいと思う。情けだけでは問題は解決しないので、今は支援する自信がない。何が出来るのかをきちんと知ってから行動したい。
- ・好きな物を食べるに連れ出すなど、自分の好きな事ができる時間を作ってあげる。

問22 山梨県では、山梨県公式 YouTube チャンネル「山梨チャンネル」でヤングケアラー啓発動画「山梨コネクトヤングケアラー」を公開していますが、視聴したことがありますか。(n=324)



問23 山梨県では、ヤングケアラーへの理解を深めていただくため、様々な啓発活動を行っています。啓発活動として効果があると思われる取組について教えてください。  
(複数回答可) (n=324)



その他(内訳)：

- ・子どもへの周知より昔はあたりまえのことだったという認識をなくすためにも大人への周知が必要。
- ・病院の待合室にポスターの掲載やチラシを置いておく。

問24 「ヤングケアラー」への印象や「ヤングケアラー」の支援に必要だと思われること  
に関して、ご意見があればご自由にお答えください。

#### 「ヤングケアラー」への印象

- ・ヤングケアラーに対する認識があまりにもなかった、身近にいないのでピンとこない。
- ・身近にヤングケアラーがいないので無関心だったが、このアンケートをきっかけにヤングケアラーについての理解が深まり何か自分でもできることがあれば協力したい。
- ・「ヤングケアラー」は昔からいたが、最近ようやく取り上げられたような感じ。
- ・学習や日常生活において、子どもが担わなければその家族の生活が立ち行かないのでは可哀想すぎる。
- ・ヤングケアラーの支援を受けることを納得していても、恥ずかしい、周囲に知られたくない子どももいる。

など

#### 「ヤングケアラー」の支援に必要だと思われること

##### <認知・理解促進>

- ・もっと多くの人に知らせることが、援助につながる。
- ・テレビ等で、ヤングケアラーについて放送して多くの人に知ってもらおう。
- ・アニメでヤングケアラーの紹介をした方がいいと思う。
- ・中高生は学校や周囲の友人が一番気づきやすいと思うので、子どもたちへの啓発が重要。

など

##### <当事者の認知・理解>

- ・当事者が悩みを相談してよい認識を持つことが重要。
- ・家族が大切なことと、ヤングケアラーであることは、別の問題であり、相談することが悪いことではないと周知させる。
- ・チェックリストなどを利用して本人の気づきに導きたい。
- ・ヤングケアラーの子は忙しくて広報等を見る時間はないので学校のホームルームなどで、ヤングケアラーについて周知すべき。
- ・本人がどれだけ負担と感ずるのか個人差があるので、介護認定のように聞き取りを行い段階分けすることで、支援の依頼がしやすくなり周りからも分かりやすくなる。

など

##### <気軽に相談できる手段・相手・場所>

- ・ヤングケアラー自身が「自分がそうである」と気づき、それを身近な人に気軽に相談できる環境作りが必要。

- ・ヤングケアラーが悩みやSOSを話せる場所がもっと増えると良い。
- ・LINEなどSNS上で相談できるとよい。(困っているときに呼び出せる、夜間等に相談できるよう24時間体制で、大人より、少し年上の例えば20代位の方が話しやすい。)
- ・堅苦しい場所ではなくさりげなく誰でもいつでも相談できる場所や人が(特に学校内に)居ればよい。
- ・自分の状態を理解してもらうのが、同年代だと難しいと思うので、成人や年配の方が相談に乗ってあげることが必要。
- ・相談支援に当たっては偏見を持たれないようにするため配慮をした対応が必要。
- ・相談窓口も、相談しやすい環境づくりや、教育機関でも専門的に相談を聞いてあげられる場所も必要。

など

### ＜周囲の大人が気づくこと＞

- ・人に話すのは勇気がいることで、子どもには難しそう。周りで気づいてあげるしかない。

など

### ＜学校での対応＞

- ・学校での把握ができるはず。学校と支援機関の連携が必要。先生方にどんな支援方法があるかの研修会や教員になる過程での学習が必要。
- ・担任教師だけでは負担がかかりすぎるので複数名の内外サポートチームで生徒を支える。
- ・学校でヤングケアラーについて学習する機会を設け、理解を深めて先生やスクールカウンセラーに気軽に相談しやすい環境を作る。

など

### ＜行政の支援＞

- ・行政からの経済的援助、学習支援、相談窓口、生活支援(公的機関や民間委託型ヘルパー派遣などを継続的に実施)などの支援や見守りの充実が必要。
- ・学校や公共の場に出られない子が多いので発見されにくく、ケアが届かない事が多いと思うので、発見しやすい環境整備の充実をしてほしい。

など

### ＜地域の支援＞

- ・公的な援助がある上で、申請を助けてくれる周囲の大人が必要。
- ・潜在的な対象者を見つけるためには地域の活動が重要である。自治会等の交流が多ければ住民から些細な情報も上がってくる。
- ・家事等のボランティアも必要。周りの人が手伝うことによって助かると思う。

など

### <居場所づくり>

- ・見守り・声かけや相談にのる居場所を作ることこそが大切。
- ・同じような境遇の人がいると知るだけで、前向きになれるので、ヤングケアラーが集える場所が必要。
- ・ヤングケアラーが心身共に休める仕組みがあるといい。
- ・孤立させないことが大事。

など

### <支援が難しい>

- ・近隣にそういった子がいても、家族の問題に入ったり、情報提供したりするのは勇気がいり難しい。どこまで踏み込んでよいのかわからない。
- ・家庭内の事情に踏み込むため、一般の人がいきなりは難しい。まずはプロの窓口が必要。

など